

音声訳を考える

## デイジーの普及でこれまでと読み方が変わったか

デイジー図書が増えてくる中、録音図書の作り方もカセットテープの時と違った作り方になってきています。今回は、デイジー図書を製作するようになって、これまでとかわった点などをまとめてみました。

テープ図書ではこれまでは苦手としていた検索作業が、デイジー図書ではいとも簡単にできるようになりましたので、その利点を生かした作り方が求められることとなります。

まず、録音の順序については、これまでの録音図書の順序と変わりはありません。デイジー図書は検索ができるようになったからといって録音の順序を変えているところもありますが、利用者の大部分が検索を使いこなす人とは限りません。どちらかというとな検索を使いこなす人の方が少数と思われます。その意味で録音順序は変えない方がよいといえます。

以下の変更点は利用者が検索やデイジー図書の良さをいかした利用をする場合、ちゃんと活用できるように音訳者が読み方を配慮する事項をあげることになります。

### ①目次の読み方について

これまで階層化した読み方はあまりしていませんでした。しかし、デイジー図書の場合、項目を自由に移動できることから、どの階層に移動したかがすぐにわかるように目次や本文の項目を読む時に階層がわかるように読みます。

ex. 1・・・、1-1・・・、 1-1-1・・・

### ②目次のページ付け

デイジー図書の場合、直接その項目が聞きたい場合、ページを指定してそこへ簡単に飛ぶことができます。これまでは目次でページ付けのないものはページを読んでいませんでしたが、目次に紹介されている項目は原則としてページ数も読み込むようにします。特に大項目の場合はページ付けがなくても必ずページを入れて読みます。最小項目の場合はそれぞれのケースで考えます。

### ③目次のページを変えて読む

デイジー図書の場合ページ数は途中で減ったりすることはできません。たとえば「はじめに」がアラビア数字 iii ページで、本文が1ページのような場合、ページ数が減ることになりますので、デイジーでは受け付けません。また、目次のページと実際に本文中で読み始める箇所が違う場合、たとえば本文中のコラム記事などで、実際のページで読まなかった場合なども調整する必要があります。前者の場合では「はじめに」のページを読まなかったり、1ページにして、本文を2ページからに変えたりします。後者のコラムなどの場合、実際に読むページに目次を変えて読みます。ちゃんと調整しておかないと、もし利用者がページで検索しても該当項目が出てこないで混乱することになります。

③本文で「〇〇▼の項参照」とあった場合、もしその項目を聞こうと思えば瞬時に飛べるようになりましたので、その項目のページ数も読み添えるようにします。

ex. 「〇〇▼の項、〇〇ページ参照」

④索引の処理 索引のあるものでもこれまではほとんどカットしていましたが、デイジー図書ではページ指定で簡単に飛べますので索引も録音します。索引によっては本文の脚注なども含んでいたりします。脚注などは該当するページで入れない場合がありますので、索引のページを読む場合、注意が必要です。この場合は実際によんでいるページに読み替える必要があります。

(清水)

## 先月の例文の処理例

今回は例文が長いので省略しました。

### 読み方例

「そんな。日本をジッポンだなんておかしいよ」とおっしゃいますか。でもね、日本（かん字でニチとホン）をひっくり返した「ホン、ニチ」をなんと読みますか？「本日休業」のホンジツですかね。本日にかぎらず休日も祝日も祭日も平日もみなジツだ。ジツは「ニチ」の漢音である。

略

しかし、呉音もしぶとく生きのこった。それで意味はおなじことなのに、本日（ホンニチ）の「ニチ」はジツで毎日の「ニチ」はニチ、というようなややこしいことになってしまったようである。

略

たとえば男子の「男」と長男の「男」（ともにオトコと書く）とは意味は同じことだ

が、男子はd音で力強く、長男はn音のナンでやわらかい。同じ「オイル、ワカイ、オトコ、オンナ」でも、漢音でロウジャクダンジョと言うと強く、呉音でロウニャクナンニョ° というとやわらかい。「ウツクシニ、ヒト」「ウツクシニ、オンナ」も漢音でビジン、ビショは音がきたないが、呉音で、ミニン、ミニョというとうつくしい。「女性」と「女人」もだいたい感じが違う。

同様に小児の「ニ」は呉音で、児童の「ジ」は漢音。内地の「ナイ」屋内の「ナイ」は・・・

略

「ジパング」は「日本国」なのであって、その国、グオがguとうつされているのである。

略

かつて日本のことを「日東」ニチ、ヒガシとも言った。・・・・カッコ、日東の李白とは石川丈山のこと、カッコトジ、芭蕉の・・・・

※ ヤーパン、ジャポン、ハポンの綴りを言うときよりはっきりします。

※ ニチをヒと説明するとニチ、ジツ、ヒとややこしくなる。

### ☆☆☆☆☆ 今月の練習問題 ☆☆☆☆☆

「カゲ」の話

常用漢字でカゲという訓を持つのは、「影」と「陰」である。二つは同源であるが、意味によって表記を変える。が、カゲという語自体が多義的なので、使い分けの線引きはそんなに簡単ではない。新聞では、「影」は“物の形・光”、「陰」は“隠れて見えない、光のあたらないところ”ということで使い分けをしている。

「月影の澄みわたるかな天の原吹きはらふ夜半のあらしに」（『新古今集』大納言経信）。夜中に吹く風に雲が吹っ飛んで、月影が澄み渡ってこうこうと輝いているという、この「月影」は月の光そのものの意味。同様に、「星影」は星の光、「火影」は灯火の光。このように光を指して言うカゲには、「影」を使う。

「影」には水面や鏡に映った姿形の意味もある。「照る月も影水底にうつりけり似たる物なき恋もするかな」（『拾遺集』紀貫之）。月だって水に映ってコピーの姿が見られるのに、全くオリジナルな、比べる物のない恋をするものだよ。“私の恋は、ありふれた人並みの恋でないのだ”と売り込んで気を引こうという心である。

「面影」は、記憶に残っている顔や姿。つまりは、心に浮かぶイメージ。また、「母の面影を残している娘」のように、似た印象という意味にも使われる。鏡や水面に映る影と同様、実物でないから一種のコピーだ。この辺から、「影」には、比喩的にホンモノに似せて作ったものというような意味が添えられ、「影武者」のような語も成立する。

「夢よりもはかなきものは陽炎のほのかに見えし影にぞありける」（『拾遺集』よみ人しらす）。この影は、人影。恋しい人の姿を遠くから見かけたのだろう。ゆらゆら揺れる陽炎のような、ほのかに見えたその姿は、夢よりももっとはかないと嘆く。

「影」は、このように姿形そのものを指す場合もある。

あはれ花びらながれ をみなごに花びらながれ  
 をみなごしめやかに語らひあゆみ うららかな登音空にながれ  
 をりふしに瞳をあげて 翳りなきみ寺の春をすぎゆくなり  
 み寺の薨みどりにうるほひ  
 庵々に 風鐸のすがたしづかなれば  
 ひとりなる わが身の影をあゆまする贅のうへ

（三好達治『測量船』所収「贅のうへ」＝引用は筑摩書房・現代文学大系『萩原朔太郎・三好達治・西脇順三郎集』から）

しきりと花びらの流れる寺域の光景を描いた美しい詩である。作品の末尾の「わが身の影」は、光が物体に遮られたとき、光と反対側にできる暗い像、つまりは影法師のことである。

「花のちる木のしたかげはを（お）のづからそめぬさくらの衣をぞきる」（『千載集』藤原仲実）。花びらの降り注ぐ桜の木の下にいと、その花の色によって、別段染め上げたわけでもないのに、自然に桜襲を着た感じになる。「木のしたかげ」の「かげ」は「陰」。物に遮られて光の当たらないところである。

「陰」には、物などによって人の視線の届かない場所、という意味もある。同じ「島カゲ」でも、「島影」なら「島影が見える」のように島の姿のこと、「島陰」だと「船が島陰に入って見えなくなる」のように目で見られない場所の意味になる。同様に、湖面に映る山の姿は「山影」、夕陽が沈む所は「山陰」と書き分ける。

「陰」には、「陰口をきく」「陰に回って悪口を言う」のように、その人の居合わせしていない場所という意味もある。こんな人物は要注意だが、自分のために陰で祈ってくれたり、援助をしてくれたりする人はありがたい。人が物事に成就し得るのは、そうした庇護者の目に見えない力添えの「お陰」ではあるまいか。「お陰」は古くは「御蔭」と書かれることが多かった。「蔭」は表外字、また「御」をオと読むのは表外訓だから、新聞では「お陰」と書くことになる。

ところで、女性には毎日欠かせない「鏡」。そのカガミのカガはカゲの母音交代形で、カゲより古い語形とされる。ミは“見”だから、「鏡」とはすなわち「影見」で、文字通り顔や姿を映して見る道具というわけだ。「武士のかがみ」などと使う「かがみ」は、漢字では「鑑」と書かれる。「（鏡によって形を整えることから）ものごとの規範。手本」と『小学館古語大辞典』にある。

「鏡」を動詞化したのが「かんがみる」だ。漢字で書くと「鑑みる」。“先例と照らし合わせて考える”が語義。「考える」と意味が近く、一見縁戚関係がありそうだが、「考える」の古形「考ふ」はアリカ、スミカなどのカ（所）にムカフが結びついてできた語らしく、別の由来。「かんがみる」の古形は「かがみる」である。

天声人語

アジサイ。六月の花。ことしは足柄平野に広がる神奈川県開成町で、この花をめでた。水田地帯の十七畝に、丹精込めた五千株がある。▼水の豊かな町だ。アユで知られる酒匂川から引いた水路が縦横に通じ、そのほとりにアジサイが咲く。水が大好きな花に、この暮らしはうれしいだろう。こんもりと球状に咲く「手まり」の青系統がそろそろ終わって、いま、ピンクというか赤系統の花の日々。まもなくガクアジサイの季節になるそうだ▼俵万智の歌に「思いきり愛されたくて駆けてゆく六月、サンダル、あじさいの花」。いかにも初々しく、「あじさい」という表記が軽やかだ。でも、寺山修司のつぎの歌は違う。△森駈けてきてほてりたるわが頬をうづめむとするに紫陽花くらし。これも初々しいけれど、やはり「紫陽花」と書くのがふさわしい▼紫陽花とは、白居易(秦天)の命名だ。俗界を遠く

離れた山中に、名も知らぬ花が咲いている。紫色で、なんともいえぬよい香りがする。だから「紫陽花」と名付けよう、と詩にある。万葉集にも詠まれたアジサイに、平安のころ日本でも紫陽花の字があてられた▼ただし白居易の紫陽花は、正確にはいまのアジサイではなかった。だいいち、アジサイは決して彼の詩のように香り高くはない。この場合の「紫陽花」とは、たとえばバルカン地方原産のライラックではなかったか、などと推測されている。紫の、たしかに芳香をもつ花である▼来歴はともかく、いまの私たちにとって紫陽花もあじさいも、アジサイだ。もう一つ △あぢさゐや真水の如き色つらねという高木晴子の句も思い出す。そう、あぢさゐにも雰囲気がある▼梅雨なのに、とくに本州はまだ梅雨らしくない。開成町ではきのうも、役場の人が自治会の消防ポンプを借りて、水路の水をふんだんにアジサイに見舞った。

二通りの読みがあって意味が異なるもの (62)

和解	ワ	外国語を日本語で解釈すること。	風	ワ	習わし。やり方。方式
	ワイ	仲直り。		ガ	空気の動き
心	ウ	心に表れない内面の意。――寂しい。――がなし。	見物	ミ	見る値打ちのあるもの
	ココ			ケグツ	見る人。見る値打ちのあるもの。

## 上手な家庭録音のすすめ

### 第2回 家庭録音に適した機器の選択

最近ではデジタル録音機もいろいろ開発されています。録音機を購入したいと思っているがカセットデッキを買うか、それともデジタル録音機を購入しようかと悩んでおられる方もあるようでよく質問も頂きます。

結論からいえば、まだデジタル録音機は家庭録音機としてはお勧めできません。OTARIがMOを使った録音機 DX-5（定価170,000円）を発売していますが、デューシー図書を作成するには便利ですが、カセットテープも同時に製作しようとするれば、カセットに変換するコピー機が100万円台になります。現在、利用者の大部分はカセットの利用者ですから当分カセット製作は続くことになるでしょう。ただし、10年後はどう変わっているわかりませんが、こうしたことから、これから録音機を購入しようとする方にもカセットデッキの購入をお勧めしています。

家庭録音用としてSONYが出してといるカセットデッキTC-RX1000Tは録音図書を製作する為の専用機として特別に製作されています。この機種は、家庭録音をする時の条件を満たしている機種です。

録音図書づくりに必要な録音機の条件とは、

- ①後追い録音ができること。
- ②ヘッドが3ヘッドでなく、2ヘッドであること。
- ③2トラック・モノラル録音が可能であること。
- ④マイクジャックが付いていること。
- ⑤手動録音が可能なこと。
- ⑥価格があまり高価でないこと。

といったことがあげられますが、このいずれもクリアーしているといえるでしょう。他のカセットデッキではこれらの条件を満たしているのはなかなかありません。

ただし、カセットデッキですので、これだけでは録音はできません。他にマイクとイヤホンが必要になります。この3点をそろえると、カセットデッキが定価39,800円（市販価格33,000円程度）マイクが6000円～7000円程度、イヤホン1500円程度で40,000円程度の費用がかかります。

マイクは電池を試用するものと電池なしの2種類がありますが、電池を使用するマイクは電池が消耗した時に、雑音が発生したり、録音のレベルが急に下がったり注意しないとせっかく読んだものが台無しになることもあります。電池を使用しているマ

イクの場合は必ず定期的に電池を早めに変えるようにしましょう。

この機種は一般のSONY製品を扱っている電気屋さんには置いてありません。機種名を言って取り寄せてもらうことになります。

つづく

## 利用者から制作依頼を受けている原本

- 『21世紀の風』大徳寺昭輝著 <宗教>
- 『ニードリッパー スポー怪奇劇場』菊池秀幸著 <小説>
- 『自分をどう表現するか』佐藤綾子著<社会学>
- 『氷室 歳時記』阿部裕四郎著<キリスト教>
- 『聖霊によるバプテスト』阿部祐四郎著 <キリスト教>
- 『希望の国のエクソダス』村上龍著<小説>
- 『7-7i-「お金に不自由しない人生」55の人生』7-7i-理論研究会編<論理学>

以上のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。初めてのグループの方は何か5分でも結構ですから録音したものをご持参下さい。録音についてのチェックと共に、必要があれば録音技術のアドバイスをさせていただきます。

## 校正者募集

### 録音製作係

盲人情報文化センターの校正作業は第1校正（モニター校正）、第2校正（家庭でカセットで校正）、第3校正（マスター校正=カセットの通し校正）第4校正（デイジー編集作業）、第5校正（デイジー図書による校正）と5回の校正を実施しています。

特にデイジー図書製作になって校正者が不足しています。第2校正者（カセット校正）とデイジー校正者（プレクストークによる校正、機械は貸し出しします）が足りません。校正希望者は係りまでお申し出ください。

## 略語資料

☆法令名の略語 下記以外は有斐閣  
六法の略語によった。

英動：イギリス動産法

ス債：スイス債務法

ス民：スイス民法

ド民：ドイツ民法

フ民：フランス民法

☆判例引用の略語

区判 区裁判所判決

控判 控訴院判決

高判(決) 高等裁判所判決(決定)

最大判(決) 最高裁判所大法廷判決(決定)

最判(決) 最高裁判所判決(決定)

大判(決) 大審院判決(決定)

大連判(決) 大審院連合部判決(決定)

地判(決) 地方裁判所判決(決定)

\*

家月 家庭裁判月報

下民 下級裁判所民事裁判例集

金融法務 金融法務事情

刑集 最高裁判所(大審院)刑事判例集

刑録 大審院刑事判決録

高刑 高等裁判所刑事判例集

高民 高等裁判所民事判例集

裁判集民 最高裁判所裁判集〔民事〕

裁判例 大審院裁判例

訴月 訴務月報

新聞 法律新聞

新報 法学新報(中央大学)

東高民時報 東京高等裁判所民事判決時報

判決全集 大審院判決全集

判時 判例時報

判夕 判例タイムズ

評論 法律〔学説・判例〕評論全集

法学 法学(東北大学)

民集 最高裁判所(大審院)民事判例集

民録 大審院民事判決録

労判集 労働関係民事事件裁判集

労民集 労働関係民事裁判例集

### デイジー編集者の為のテキストのご案内

「テープライブラリーにしのみや」でデイジー編集者の為のテキストを作成されています。図解・カラー版で大変わかりやすいテキストです。今回は2分冊を1冊にまとめられています。

『図解 初心者のための デイジー編集の基本操作 I 編集の基礎編  
II 編集の応用編』

頒布価格 2000円(A4 カラー55頁)

申し込み先 西宮市立視覚障害者図書館内(テープライブラリー-西宮)  
電話 0798-34-5554  
FAX 0798-34-4124

※ お申し込みは、図書館またはグループ単位でお願いしますとのことです。